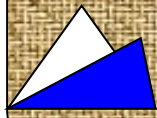


会報

日本勤労者山岳連盟（富山県連盟）

新日本スポーツ連盟



三島野スポーツクラブ

No. 283

2024年4月1日

代表 岩井 富雄

射水市宝町 1364-35

TEL・FAX 57-8180



小矢部市城山公園より

小木 清画

4
月・
5
月

企画案内

- 4/14 光城山・長峰山
- 4/28 火燈山～富士写ヶ岳
- 5/12～13 燕岳
- 5/19 大嵐山
- 6/2 クリーンハイク 医王山

山
行
報
告

取立山 3/4

庄川の源流を遡る

林 憲彦

4月・5月 企画案内

4/14 (日) 光城山～長峰山

911.7m 933.5m

ひかるじょうやま
ながみねやま
安曇野市

【集合】5時20分 【出発】5時30分
【行程】
光城山登山口 9:00 ⇨ 光城山頂 ⇨ 天平の森 ⇨
長峰山頂 (昼食) ⇨ 長峰山登山口 13:30
歩行時間 3時間 45分 累積標高差 450m
技術・体力度 ★☆☆☆☆
企画・堀井泰則 登山L・的場邦夫
【参加申込】4月4日まで堀井泰則へ 090-1314-6394



4/28 (日) 火燈山～小倉谷山～富士写ヶ岳

福井県丸岡町/加賀市

ひともしやま 1320m こくらたにやま 911m ふじしゃがたけ 942m

登山道はシャクナゲの花盛り、稜線からの展望よし。春爛漫の山歩きを楽しむ。

【行程】
大内峠登山口 ⇨ 火燈古道 ⇨ 火燈山 ⇨
小倉谷山 ⇨ 富士写ヶ岳 ⇨ 大内峠登山口
歩行時間 (周回) 6時間 30分 累積標高差 1000m
体力度 ★★★☆☆ 技術度 ★☆☆☆☆
〈L〉的場邦夫
【参加申込】4月18日まで
的場邦夫 SMS 090-4320-5325

会報№282 3月号で「火燈山・小倉谷山往復コース」と案内しましたが、富士写ヶ岳を周回コースに変更しましたのでご了承ください。



5/12 (日) ～13 (月)

燕岳

つばくろだけ
安曇野市
2763m

陽春の北アルプスなら燕岳が目指し
やすい！ 雪山初級者にも取り組め
る、明るく展望の良い頂へ

【行程】中房温泉登山口 ⇨ 合戦小屋 ⇨ 燕山荘 ⇨
燕岳 (往復) 燕山荘に宿泊
累積標高差 1300m ↗ 6時間 ↘ 4時間
体力度 ★★★☆☆ 技術度 ★☆☆☆☆
〈企画〉塚 良昭 〈登山L〉的場邦夫
【装備】雪山登山の装備 ピッケル、ストック、アイゼン、防寒対策、温飲料
※参加申込は山荘宿泊予約のため、3月10日までと案内しましたが、参加希望者は塚 良昭 080-8033-7427 に問合せてください。

燕山荘は四季を通して人気の山小屋。夕食時の赤沼健次オーナーのホルン演奏とトークが楽しい。



5/19 (日) 大嵐山

おおあらしやま
1204m
石川県白山市

水芭蕉群生地「水芭蕉園」があり、山頂までの登山道は「森林浴の森」と呼ばれる美しいブナ林があり、山頂では白山も望むことができます。

【行程】

手取川ダム湖 P ⇄ 登山口 ⇄ 大嵐山 ⇄
水芭蕉群生地 ⇄ 登山口

〈L〉 的場邦夫

歩行時間 6時間 30分 累計標高差 850m

体力度★★☆☆☆ 技術度★☆☆☆☆

【参加申込】5月9日までの場邦夫へ

SMS 090-4320-5325



6/2 (日) クリーンハイク 医王山

いおうぜん
939m
南砺市/金沢市

日本勤労者山岳連盟の全国いっせいに行う「クリーンハイク」。
今回はチョット工夫を凝らして『山菜 BBQ』も検討中です。

国見ヒュッテから奥医王山までのルートを2~3時間歩き、ゴミを一掃します。山歩き好きの友人を誘って参加できる（お試し山行）企画とします。

※ 詳細案内は次号会報に記載します。



寄稿 知恵袋 知っていても知らない話 山田 格

春分 しゅんぶん

昼と夜の長さが同じになる頃で、これ以降、少しずつ昼が長くなっていく。春の彼岸の中日で「暑さ寒さも彼岸愛で」と言われるように、このころから寒さが遠のき、温かい日が増えてくる。新暦では3月20日〜4月3日頃。24節気の一つ、太陽の中心が春分点上に来た時の称。春分を含む火を春分の日という。春の彼岸の日の中日にあたる。

春分点 しゅんぶんてん

黄道と赤道との交点のうち、太陽が南より北に向かって赤道を通過する点。赤経・赤緯および黄経・黄緯の原点（分点）。

春分の日

国民の祝日の一つ。3月21日頃。春分に当たり、自然をたたえ生物をいつくしむ。

立春

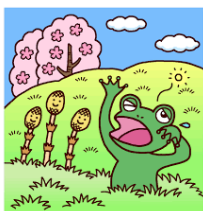
冬と春の分かれ目で、旧暦では新年の始まり。八十八夜や二百十日、二百二十日などはこの日から起算される。また春の兆しが現れる頃で、この時節から最初に吹く強い風を「春一番」と呼ぶ。新暦では2月4日〜3月4日頃。

雨水 うすい

降るのが雪や霰から雨に変わり、寒気も少し和らいで氷が解け始める頃。そのため、草や木の芽もふくらみ始め、春の芽吹き準備を始める。新暦では2月19日〜3月4日頃。

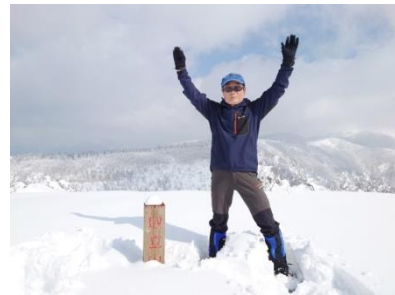
啓蟄 けいちつ

春の陽気に目覚め、土中の巣穴から姿を現し、動き始める頃。中国では「驚蟄」と書くが、元々は「啓蟄」であったため、火本ではこれを採用した。新暦では3月5日〜19日頃。



山行記録

登山口	8:30
取立登山口	10:40
(休憩)	15分
取立登山口	10:55
取立山頂上	13:15
(休憩)	30分
取立山登山口	14:35
(休憩)	15分
登山口	15:50



岩井:当日は雨から雪でしたが、ネットの予報ではお昼ごろには晴れる予報なので山行を決行しました。結果は予報通りで現地は快晴ではありませんでしたが良い天気にも恵まれました。しかし残念ながら遠くの山々は雲のベールに包まれたままでした。

塚:40~50センチの新雪が積もっており、踏み跡がなくラッセルを楽しく堪能しました。ルートを探しながら藪漕ぎしながらの山行でした。山頂近くのビクトリーロードは気持ちよく楽しかった。

的場:岩井代表から取立山の山行日を塚さんと話して変えたと連絡を戴き参加させて戴きました。葉勝寺Pは雨でしたが白峰村から福井県に入ると新雪が有り、びっくり。登山口の駐車場は除雪がしてあり我々は一番乗り、早速準備して、いきなりカンジキを付けて開始する。やはり前日のトレースは消えて30~40センチの水気を含んだ新雪のラッセルの開始だ。ヤママップの軌跡をダウンロードしておいて良かった。途中の藪漕ぎには参ったが3人で代わる代わる進む。特に頂上近くの尾根道は積雪が多かった。本来はビクトリーロードのはずが酷道だった。頂上は予報どおり晴れていたが、期待した白山と別山の姿は拝めず残念だったが、楽しい一日になった。

山行報告

3/17(日)

石川県能美市/小松市

やりみずかんのんやま 遣水観音山 (402m)

メンバー：〈L〉 的場邦夫、〈SL〉 石黒洋子、〈写真〉 林 憲彦、塚 良昭、草 進、仲西雅子、山本則夫

【行程記録】

薬勝寺駐車場出発	7:00
遊泉寺銅山跡	8:10
遣水観音霊水堂	9:00
観音堂跡	9:45
遣水観音山(昼食)	10:00
九社谷	11:20
冷水の里仏大寺町分岐	12:00
遣水観音霊水堂	12:20
遊泉寺砂山	12:35
遊泉寺銅山跡	13:20



ひとくち感想

石 黒： 2月に膝捻挫で、来拝山も取立山も行けなかった。歩くたびに痛くなるため、もう登山はできなくなるかも…と心配しながらも少しずつ良くなってきたので、ギリギリで申込み。ところが前日にひどい鼻水と咳、病院で検査して感染するものではなかったので、家で休息をとる。朝は大丈夫そうだったので参加。無事に歩けたのでほっとしている。昔の銅山跡が遺され、学校や病院もあったらしい、沢山の人が住んでいた場所で、お茶碗のかけらもあった。所々に山桜や猩々袴(しょうじょうはかま)、ナニワズ(初めて見る黄色の可愛い花)が…咲いていた。シャガは花はまだだが群生地が沢山あり、咲いたら綺麗だなと思う。三島野クラブの皆さんと一緒に歩けたことに感謝！です。ありがとうございます！



林： 時折霧雨が降る天候でしたが、たいして降られず良かったと思っています。天気良ければ白山や市街地の眺望が望めたのと思いつつ降られず良かったです。終わって遊泉寺資料館に立ち寄って銅山の歴史を知ったのも少しは勉強になりました。

草： 厳しい階段の連続だよ。覚悟の登りですか、そこは林先輩のユニークな話で盛り上げていただきました。足がふらつき、汗をかきかき、無事周回コースを踏破することが出来ました。登山口での、コマツ製作所の発祥の地、銅山等を勉強し無事楽しい山歩きが出来、皆さんに感謝します。



的 場： 最初の企画は能登猿山の雪割草を愛でる企画でしたが、能登半島地震で企画変更になって代替企画で遣水観音山周回コースになった。最後チョット小雨にあったが、本降りにならず良かった下山後、銅山資料館を見学して里山歩きを満喫した！

塚： 遊泉寺銅山跡地を眺め、往時を偲びながらの楽しい山ハイキングでした。遣水観音山は急階段やアップダウンがあり、結構応えました。またトレランの方が多いのに驚きました。

仲 西： 駐車場から一時間ほど登ったところに遣水観音霊水堂があり一口頂いて登山の安全をお願いしました。頂上では曇り空でかすんで日本海はうっすらと見えてましたが、白山がドンと見渡せきつかった階段を登ってきた甲斐がありました。下山では雨がポツポツ降り出したのですが大降りにならずに済み観音様に感謝です。

山 本： 遊泉寺銅山跡の知識を持たずに行きましたが、江戸時代 1770 年から採掘が行われ、明治 35 年（1902）に本格的な操業がスタートした。全国でも有数の鉱山となり、建機メーカーの「コマツ」の基礎が築き上げられたとの事でした。この鉱山の最盛期には、1000 人以上が働きその家族も暮らした巨大な鉱山街跡や巨大煙突、深さ 250m の堅坑跡等々興味深い里山でした。



世話人会より

4/7（日）救急救命講習会（前期）日本スポーツ連盟富山県連盟主催
午前 10 時～12 時 富山市教育文化会館

AED の使用方法・三角布の使い方・熱中症対策などの講義と実技指導。

急な事故の遭遇に慌てずに対するための知識を持ちましょう。

どなたでも参加できます。無料。

参加希望者は 4/2(火)まで荒井英治 080-8695-6639 へ



登山セミナーに参加しましょう

6月29日（土）立山国立登山研修所 勤労者山岳連盟富山県連盟主催

午前は県連盟合同の講習会

午後は三島野スポーツクラブで三点支持の訓練を真川堤防でおこないます。

経験者も年に一度は訓練し、体で覚える機会を作りましょう。

パークゴルフ始めませんか

4月25日（木）午後 1 時から 4 時

ゴルフクラブなどの用具の相談と申し込みは 4/2(火) まで荒井英治 080-8695-6639 へ

庄川の源流を遡る

林 憲彦

庄川は上流から肥沃な水を運び畑や田んぼに恵みを与えてくれます。そのため射水郷は早場米の産地として有名です。

雄神橋の少し上流、河の中にこんもりと樹木が茂っている場所があり、近づいてみると弁財天社でした。その先の舟戸（合口）ダムのダム湖を遡ると、国道に合流する角の小牧発電所の入り口近くに「牛嶽車道開通記念碑」の案内がありました。

この碑は国道を車で走っていると目に入らない道路の法面の自然石に作られており、車で走って見つけられない場所です。ウォーキングならではの発見でした。昔、牛嶽の傍の石灰山から石灰を背負って運んでいました。荷車が通れる車道を作り石灰の運搬が大変楽になりました。その喜びを表したものだといりました。



魚帰りの滝

庄川遡上 ウォーキング記録



2019年		
①12/20	射水市六渡寺～南郷大橋	11.2km
2020年		
②1/6	南郷大橋～砺波大橋	15.0km
③2/7	砺波大橋～雄神大橋	8.4km
④2/12	雄神大橋～牛嶽車道開通記念碑	6.4km
⑤2/14	牛嶽車道開通記念碑～利賀大橋	6.9km
⑥2/29	利賀大橋～大渡橋	10.4km
⑦3/7	大渡橋～小原橋	9.4km
⑧3/9	小原橋～高原川橋	9.7km
⑨3/12	高原川橋～白川郷	12.4km
⑩3/15	白川郷～飛騨白山	15.6km
⑪3/23	飛騨白山～みぼろ湖	13.0km
2022年		
⑫10/21	みぼろ湖～道の駅 庄川道の駅～山中橋	8.5km
2023年		
⑬5/11	山中橋～庄川源流	1.0km

この先岐阜県の保木脇で「帰りに雲城埋没地」の看板が目に入りました。ここはかつて内ヶ島氏の城下町があったところですが天正13年11月27日の天正大地震で城もろとも城下町が一瞬にして埋没したところでした。高岡市福岡町の水舟城も弁財天社の謂れもこの時でした。唯一の滝で魚が遡れない滝がありました。最後の行程は藪漕ぎと熊などの危険もありましたので、山仲間のMさんに同行をお願いしました。帰りの参考にと赤テープを枝に結わえ、200mほど進むと流れに出ました。これが庄川でした。

そのまま遡上し源流近くでMさんが立派な頭骨付きの角を拾ってきました。ニホンジカの角を拾った所から先に行っても雰囲気が変わらず、Mさんとここを源流にしようと折り返ししました。赤テープのおかげで難なく林道に辿り着きホッとしました。今回のウォーキングの一番の収穫（ニホンジカの角）は私の宝になりました。



林憲彦さんの詳細記録はこちらのQRコードから↑



帰りに雲城埋没地

新日本スポーツ連盟の機関誌「スポーツのひろば」4月号に三島野スポーツクラブの相談役の林憲彦さんの記事が載りました。転載・紹介します。

書籍紹介

山小屋の主人を訪ねて

高桑信一 著

東京新聞社刊 2014年初版

A5版並製 256ページ

1760円

山小屋には安らぎがある。
大きな小屋にも、ちいさな小屋にも、立派な小屋にも、素朴なたたずまいの小屋にも、登山者にささやかな安らぎをもたらす山小屋と、そこに暮らす主人を訪ねて、山々を旅した。

(本書 冒頭文)

泊り客のための設備など粗末でいい。いや、粗末なほうがいい。

雨露をしのぐ小屋のストープに寄り添い、心温まる食事があればそれでいい。

小屋を守るひととの出会いが、私たちを豊かな思いに誘う。

山小屋は、山とひとの交差点なのだから。

(表紙カバーより)



北海道から九州の 27 の小屋と山の訪問記。
三島野SCが訪れた「朝日小屋」「真砂沢ロッジ」「大日小屋」など八つの県内の山小屋も紹介。

〔三島野スポーツクラブ世話人会〕

任務分担	氏名	住所	TEL	携帯
代表	岩井 富雄	射水市宝町 1364-35	57-8180	090-5177-9255
副代表	的場 邦夫	氷見市十二町 1037-36	74-6434	090-4320-5325
副代表	堀井 泰則	高岡市石瀬 748-6	25-2792	090-1314-6394
会計担当	塚 良昭	射水市寺塚原 226	84-1162	080-8033-7427

世話人会は、荒井英治、川淵順正、棚田清志、新田俊明、山本則夫、石黒洋子、加藤日出子、守田清子と上記の4名で構成します。

〔監事〕草 進、浦 幸江 〔相談役〕山田 格、林 憲彦

4月の世話人会開催は **4月9日(火)と4月23日(火)午後2時から**。会場は「はなみずき」です。どなたでも自由に参加できます。お気軽においでください。

尚、4月会報作成発送を3月28日(木)午後2時からおこないます。

会報編集担当 会報に記載する原稿は下記のアドレスに送ってください。

堀井泰則 hori.yasunori@rouge.plala.or.jp 甲かほ kab@p2.tcnnet.ne.jp 松田理恵子 krbara@p2.tcnnet.ne.jp

会報『三島野スポーツクラブ』をインターネットで見るためには、まず、「スポーツ連盟とやま」を検索し、次に富山県連盟、次の画面の「三島野スポーツクラブ」をクリックし、次の画面の「会報」をクリックすると見ることができます。

ホームページへのアクセスは http://sportstoyama.namaste.jp/99_blank.html を入力して検索してください。また、スマホの場合は右のQRコードを利用してください。

全ページをカラー写真で見ることができます。



編集後記

- ・「山笑う」季節になりました。咲く花や芽吹き新緑の樹々に自然の活力を感じ、巡る季節のうつくしさを見る山旅をしましょう！光城山・長峰山は2013年以来11年振りの企画、火燈山～富士写ヶ岳は初めてのコースです。ふるって参加を！
- ・山行報告も取立山は初めての雪山、遣水観音山は初めての企画であり、新鮮な企画のオンパレードになります。どんな山なのか？どんな山行だったのか？興味を持って読んでください。
- ・林さんが足掛け4年にわたって歩いた、庄川河口から源流までのレポートを「スポーツのひろば」から転載しました。